

# 新春

視点

View Point

## みずのまさよし 水野 雅義 氏

長野商工会議所会頭

周りの皆さんに支えられた1期目の3年間に、「NAGANO働く女性会議」など新しい取り組みを始めることができました。しかし、「住む人来る人ワクワクする街・長野」へはまだ道半ばです。まずは物価高や人手不足で苦しんでいる事業者の皆様のお力になること、そして、2027年に迎える善光寺御開帳を盛り上げること、さまざまな事業に2期目の3年間も前向きに取り組んでまいります。

(インタビューは2025年11月に実施しました)



## 会員に資する長野商工会議所であり続けながら 「ワクワクする街 長野」へ向け一步ずつ

副会頭はじめ  
周りに支えられた3年間

長野商工会議所会頭として2期目を迎えた今のお気持ちをお聞かせください。  
水野 1期目は、何かにつけて周りの方々に支えただいた3年間でした。歴代会頭と違い、私は強いリーダーシップで組織を牽引するタイプではありません。副会頭はじめ皆さんにサポートしていただき、また、皆さんがお立場ごとに先頭に立って各々の事業に取り組んでいただいたおかげで、私はこの要職を3年間続けてこられました。

思い起こせば、就任当初はコロナ明けで、世の中が非常に厳しい状況にありました。物価高や人手不足で悩まれている事業者さんがたくさんいらっしゃいます。私が目指すところへ至るにはまだ道半ばです。長野地域の中小企業や小規模事業者の皆さんが心配事なく、仕事にやりがいをもつて取り組んでながら講じることができました。

「住む人来る人ワクワクする街・長野」を掲げ、段落したものの、まさに今、物価高や人手不足で悩まれている事業者さんがたくさんいらっしゃいます。私が目指すところへ至るにはまだ道半ばです。長野地域の中小企業や小規模事業者の皆さんが心配事なく、仕事にやりがいをもつて取り組める環境づくりに今後も努めます。

2期目のスローガンも1期目と変わりません。「住む人来る人ワクワクする街・長野」を掲げ、変化の激しい経済・社会環境のなかで、長野が魅力ある街になるよう、長野商工会議所ではさまざまな事業に取り組んでまいります。この2期目の間、2027年に善光寺御開帳、翌年には「信州やまなみ国スポーツ・全障スポーツ」が長野で開催されます。大きなイベントに合わせて多くの方が長野にお見えになりますから、善光寺に来てよかったです。

### 働く女性会議などで 新たな一步を踏み出す

——1期目の3年間で特に印象に残っていることは何ですか。

水野 目立った動きとしては、NAGANO働く女性会議があります。女性の副会頭を入れたいと就任当初から思っていたところ、その職に就いてくれた塙田まりさんが非常にアグレッシブに

取り組んでくれました。昨年の全国商工会議所専務理事事務局長会議では、塙田副会頭が講演をしたところ、各地の商工会議所からもっと話を聞かせてほしいと引き合いました。長野発の取り組みが全国でも芽生えようとしていること、また今年3月にはその活動が日本商工会議所事業活動表彰を受けたことは、一つの成果だと評価しています。

継続は力なりです。この事業がこの先も着実な歩みをみせながら、塙田副会頭の思惑通り県全体に拡がっていくことを期待しています。

スポーツを通じた街づくりは、いまひとつ成果を残せませんでした。サッカーのAC長野・パルセイロは残念ながらJ2昇格が叶いませんでした。一方、バスケットボールの信州ブレイブウォリアーズはBプレミアへの参入が決まり、再び賑わいが戻るのを楽しみにしています。フットサルの長野ボアルースもF1に定着できるようになれば、盛り上がりがつてくるでしょう。

観光産業は、私の会頭就任時こそ先ほども申し上げた通りコロナ明けで、世の中は懇親会等の開催に抵抗があり、ご苦労された会員事業所も多かったと思います。しかし、最近はインバウンド需要もあり、飲食も宿泊も活気が戻ってきたように感じています。

地域最大級の多業種総合展示会「産業フェアin信州」については、史上最多の出展社数を更新しました。また、地元の企業経営者が小中学校に

### 仕事が評価されない下請事業者

——長野地域の経済状況、中小企業が抱える課題について、どうお考えになっていますか。

水野 エネルギーコストや人件費など、あらゆるもののが上がっているのに、中小企業や小規模事業者が提供するものやサービスへの評価はまだ低い状況です。パートナーシップ構築宣言



産業フェア



横顔

趣味はスポーツ観戦。試合会場に足を運ぶと、地元チームが勝つことが多い。ときにチームへ苦言を呈するのも、チームとスポーツへの愛ゆえ。座右の銘は「One for all, All for one」。

取った情報提供、そして適切なアドバイスをしていくことが大事になります。  
1期目で取り組んできた女性活躍、あるいは産業フェアなど地元経済の活性化事業については、今後もその歩みを着実に進めます。また、今年緒に就いた地域イノベーションに関する事業も、長野地域からイノベーションが芽生えていくことを期して、来年以降も継続していきます。スポーツを通じた街づくりでは、何よりプロスピーツチームの躍進に期待します。サッカーもバスケもフットサルも、地域のファンの心を掴み続けることで、まちにお金が落ちるサイクルが生まれ出せたらすばらしいですね。

冒頭でお話ししたように、善光寺御開帳や信

をしている企業数は増えているものの、下請事業者の地位はいまだ不安定です。  
大企業や都市部の企業が過去最高利益を出したとか、日経平均株価が5万円に達したなどと報道されますが、その好況感を我々地方にいる者は実感していないというのが正直なところです。  
中小零細はおいてきぱりにされている歯がゆさや、中央だけが栄え地方は滅びてしまいかねない危機感さえ感じます。

前政権では地方創生を看板政策の一つに掲げたものの、具体的な成果を見ぬまま今の高市政に交代しました。地方の中小企業や経済団体には自助努力でできることがあることを高市総理にも汲み取っていただき、地方の者の中から見ても「総理が代わってよかつた」と思えるような活躍を期待します。



善光寺御開帳

また、人手不足が課題となるなか、女性やシニア層の活躍の場を拓げることは喫緊の課題です。外国人にも頼らざるを得ないでしょう。最低賃金がこれほど急激に上昇するとは、多くの経営者が予期していませんでした。前政権は最低賃金1500円を早急に実現するとうたっていましたが、正直そのスピードに我々は追いついていません。急すぎます。そのあたりを国は見誤っているのではないかでしょうか。

賃金を上げなければならないことは、経営者は誰しも分かっています。しかし、大企業なら叶うことでも、中小企業、小規模事業者にとっては易いことではありません。だからといって、DX（デジタルトランスレーション）を導入することで、少人数でも付加価値を生み出せる経営に切り替えるべきだと言われても、どうやってそこに手をつけたらいいのか分からず事業者さんも多いと思います。長野商工会議所としても、会員企業の皆様へ、DXについて関心を持っていたとき、「ご理解いただく場の提供に努めるべきだと心得ます。

## 会員へ有益な情報提供と 適切なアドバイスを

—— ただ今もDXの導入支援についてお話をありました。が、地方の中小事業者が抱える課題に対処するため、長野商工会議所としてこれからどういったことに努めていかれますか。

水野 何をおいても長野商工会議所は、中小企業や小規模事業者の皆さんにとって有益な情報を提供する場であり、その情報を受け取った方が長野商工会議所の会員になつて良かったと思っていただける場所でなくしてはなりません。補助金の種類やその活用方法など、ご案内できる情報は



長野えびす講煙火大会

州やまなみ国スポーツ・全障スポといたた大きなイベントが開催されます。長野の街が活気づくことを長野商工会議所として大いに期待しています。そうした機会に長野の魅力を大いに発信したいと考えます。とりわけ善光寺御開帳は、会頭として2期目を迎えた私にとって最も大きな行事となります。前回のコロナ禍での開催とは違った盛り上がりになるはずですし、国内はもとよりインバウンドの方にも喜んでいただける善光寺御開帳になればと願っています。来るべき2027年4月に向けて、その機運を盛り上げていきます。新しい取り組みも現在検討していますので、ご期待ください。

また、国民スポーツ大会が長野で開催されるのは、冬の競技を別として、私が中学生だった1978年のやまびこ国体以来です。一生に一度か二度しか巡ってこない地元開催は、やはり長野にとつて大きなチャンスになるでしょう。

いずれの機会においても、SNSをはじめ場面に応じた効果的な情報媒体の有効な活用、キャッシュレス決済の対応拡大、コミュニケーション能力も含めたおもてなしの向上など、取り組むべきテーマを入念に検討していきます。

長野市との関係について申し上げると、荻原市長が2期目を迎えられました。荻原市長とは、経済活性化や観光振興、スポーツを通じた街づくり、子育て支援等で考え方を同じくしています。引き続き役割分担をしながら連携をより密にしてまいりたいと考えます。

## お気軽に長野商工会議所へ 足を運んでください

—— 最後に、本誌の読者である会員企業の皆様へメッセージをお願いします。

水野 日ごろ事業をされているなかで、苦しんでおられることがいろいろあるかと思います。お困りのことがございましたら、ぜひ長野商工会議所をご活用ください。皆様の声を伝えていただけます。職員も皆そうした気持ちでいます。ぜひお気軽にご相談ください。

2期目も「住む人 来る人 ワクワクする街 長野」を実現すべく、内向き後ろ向きになることなく、前向きにあらゆることに取り組んでまいります。皆様どうぞよろしくお願ひいたします。